

中国・香港における訪日旅行取扱旅行会社
50社のヒアリング結果・発言録
～ツアー販売再開の状況と、問い合わせ状況～



2011年5月26日
株式会社チャイナ・コンシェルジュ

※本件調査結果は2011年5月24日時点のヒアリング結果を元にまとめております。

※お問い合わせ:

株式会社チャイナ・コンシェルジュ 営業企画部 福島、菊地

東京都中央区銀座8-11-5正金ビル6階

TEL03/3573-1222/FAX.03-3573-1221

調査概要

- 1) 調査期間: 2011年5月20日～2011年5月24日
- 2) 対象都市: 瀋陽、大連、北京、青島、上海、南京、重慶、広州、深セン、香港
- 3) 対象者: 上記都市にて訪日旅行を取り扱う旅行会社の訪日関連部署の担当者
- 4) 調査手法: 電話調査
- 5) サンプル数: 50社

瀋陽(3)	瀋陽中国旅行社、瀋陽青年国際旅行社有限公司、遼寧海外国際旅行社
大連(4)	大連山水旅行会社、大連市海外旅行社、大連市中国国際旅行社、大連市中国青年旅行社
北京(8)	中国国際旅行社総社有限公司、中商国際旅行社有限公司、北京神舟国際旅行社集团有限公司、中青旅控股股份有限公司、中国婦女旅行社、中国和平国際旅游有限責任公司、中国康輝旅行社集团有限責任公司、中信旅游総公司
青島(3)	青島海外旅游有限公司、青島華青国際旅行社、中国国旅(青島)国際旅行社
上海(7)	上海中信国際旅行社、上海国旅国際旅行社有限公司、上海中旅国際旅行社有限公司、上海中国青年旅行社、上海錦江旅游有限公司、上海春秋国際旅行社有限公司、上海航空国際旅遊有限公司
南京(1)	江蘇海外旅游有限公司
重慶(3)	重慶海外旅業集团海外旅游有限公司、重慶中国青年旅行社、重慶市中国旅行社有限公
広州(7)	広東省中国旅行社、広東国旅国際旅行社、広州広之旅国際旅行社、港中旅広東国際旅行社有限公司、広東省中国青年旅行社、広州東方国際旅行社、広東南湖国際旅行社
深圳(1)	深圳中国国際旅行社
香港(12)	東瀛遊(EGE)、星晨旅遊(MorningStar)、永安旅遊(WingOn)、專業旅運(TravelExpert)、安運旅遊(Wincastle)、新華旅遊(SunFlower)、康泰旅遊(HongThai)、縦横遊(PackageTour)、日航天地旅游(JAL)、藍天假期(ANA)、至尊假日(Xpert Holidays)、國泰假期(cathay)

6) ヒアリング項目:

1. 訪日ツアー販売の再開状況と目的地
2. 訪日ツアー販売を再開した理由
3. 訪日ツアー販売再開後の問い合わせ状況
4. 震災前後での傾向の変化の有無
5. 再開に伴い日本側に宣伝に力を入れてほしいエリア

調査結果サマリ

1. 訪日ツアー販売の再開状況と目的地

- 5月より販売の再開をしている旅行会社が大多数を占める。販売している目的地は、関西以西が中心。
- 一方、販売を再開しているものの、一般客のツアーの催行までには至っていない様子。
- 催行されているツアーについては、社員関係者や、商務旅行が中心のようだ。

2. 訪日ツアー販売を再開した理由

- 各社より挙げられた主な理由としては、「旅遊局からの伝達があった為」が大勢を占める。
- 広東省地区においては、香港または域内の他社が販売を再開したことを理由にしている旅行会社が多く見られる。
- 瀋陽地区においては、日系航空会社より安価な航空券を提供してもらったことがきっかけとなっているようだ。

3. 訪日ツアー販売再開後の問い合わせ状況

- 販売再開後の問い合わせ状況については、震災直後のゼロ件という状況からは、各社とも徐々に増えつつある模様。

4. 震災前後での傾向の変化の有無

- 震災前後での、訪日ツアーの傾向の変化について聞くと、ツアー内容については①日数が短くなった、②値段が安くなった、③目的地が関西、九州が増加した、の3点が多く挙げられた。
- 消費者については、「安全面を気にする人が増えた」との回答が見られた。

5. 再開に伴い日本側に宣伝に力を入れてほしいエリア

- 日本側に宣伝を力を入れて欲しいとするエリアについては、関西以西のエリアが中心に挙げられた。現在旅行会社が販売している目的地と、ほぼ同様の結果となった。

1.訪日ツアー販売の再開状況と目的地

- 5月より販売の再開をしている旅行会社が大多数を占める。販売している目的地は、関西以西が中心。
- 一方、販売を再開しているものの、一般客のツアーの催行までには至っていない様子。
- 催行されているツアーについては、社員関係者や、商務旅行が中心のようだ。

No.	エリア	訪日ツアー販売再開状況	販売する目的地
1	瀋陽A社	5月中旬から販売。6/5はツアー出発日。	東京、大阪
2	瀋陽B社	5月中旬から販売。6/15はツアー出発日。	東京、大阪、京都、箱根
3	瀋陽C社	5月中旬から販売を再開。6/18が出発日。	東京、大阪
4	大連A社	5月上旬	関西
5	大連B社	5月中旬	関西が中心
6	大連C社	5月上旬	関西
7	大連D社	5月上旬	北海道、関西
8	北京A社	5月初旬	九州、関西、北海道
9	北京B社	5月中旬	九州、関西、東京含めたゴールデンルート
10	北京C社	5月初旬	大阪、東京、北海道
11	北京D社	正式には再開していないが現在準備中。6月中旬に、まず社員の家族の団体ツアーを実施予定。その後7月に正式に団体ツアーの募集を正式に始める予定。	北海道、関西
12	北京E社	まだ正式には再開していない。今出ているのは、すべて会社関係者の団体のみ。	関西が中心
13	北京F社	5月中旬	関西、九州
14	北京G社	まだ正式には再開していない。6月は殆どが社員の家族や商務の団体。7月から徐々にお客様の募集を開始予定。	関西、九州
15	北京H社	5月中旬	九州、関西
16	青島A社	5月中旬から販売を再開したが、お客さんが集まらず、まだ出発できる状態ではない。	大阪、九州
17	青島B社	5/16の週から販売を再開している。	名古屋、大阪
18	青島C社	※日本に視察旅行中。	
19	上海A社	6月	沖縄のゴルフ
20	上海B社	6/3より。	大阪
21	上海C社	まだ販売は再開していない。	大阪
22	上海D社	5/23の週から販売を再開。	大阪、神戸
23	上海F社	5/16の週から販売を再開。最初のツアーは5/27出発予定。	大阪
24	上海G社	5/13から販売を再開。6/2に出発予定。	香川
25	上海H社	5/20から販売を再開。今週、社員の団体が出発予定。	大阪
26	南京A社	5/16の週から販売再開だが、6月出発は人数が集まらない。	関西
27	重慶A社	5月中旬から販売を再開。6月初旬に出発できればと思うが、まだお客様は少ない。	関西、沖縄
28	重慶B社	5月中旬から販売を再開したが、まだツアーが催行できるほどではない。	関西
29	重慶C社	ずっと販売を継続しているが、申込者が少なくツアーの催行には至っていない。	関西
30	重慶D社	5月中旬から販売を再開しているが、申込者が少なく、まだ出発させられていない。	大阪
31	広州A社	5月中旬	九州、関西、沖縄
32	広州B社	5月中旬	九州、関西
33	広州C社	5月中旬	沖縄、関西、九州
34	広州D社	5月中旬	沖縄、関西
35	広州E社	5月中旬	関西、九州
36	広州F社	現在準備中。5月末に再開予定。	-
37	広州G社	※北海道に視察旅行中。	
38	深圳A社	5月下旬	関西、九州
39	香港A社	4月中旬	東北以外のエリア
40	香港B社	5月中旬	東北以外のエリア
41	香港C社	5月中旬	東北以外のエリア
42	香港D社	(4.26時点で再開済)	東北以外のエリア
43	香港E社	(4.26時点で再開済)	東北以外のエリア
44	香港F社	5月中旬	東北以外のエリア
45	香港G社	5月中旬	東北以外のエリア
46	香港H社	4月中旬	東北以外のエリア
47	香港I社	(4.26時点で再開済)	東北以外のエリア
48	香港J社	(4.26時点で再開済)	東北以外のエリア
49	香港K社	※海外視察旅行中につき不在。	
50	香港L社	(4.26時点で再開済)	東北以外のエリア

2.訪日ツアー販売を再開した理由

- 各社より挙げられた主な理由としては、「旅游局からの伝達があった為」が大勢を占める。
- 広東省地区においては、香港または域内の他社が販売を再開したことを理由にしている旅行会社が多く見られる。
- 瀋陽地区においては、日系航空会社より安価な航空券を提供してもらったことがきっかけとなっているようだ。

No.	エリア	訪日ツアー販売を再開した理由
1	瀋陽A社	時間が経過したので、メディアの報道は沈静化し、また旅行局からもOKが出た為。それより、一番重要なきっかけとなったのは、航空会社から安いチケットを提供してもらった為。
2	瀋陽B社	旅行局からOKが出たことと、航空会社から販売支援として安価なチケットを提供してもらった為。
3	瀋陽C社	ANAより安いチケットを提供してもらった為。
4	大連A社	他地域の再開状況を見て決定した。
5	大連B社	瀋陽エリアの再開状況を見た為。
6	大連C社	他の大都市の再開状況を見た為。
7	大連D社	業界内での情報、、、例えば他社の再開状況など。
8	北京A社	旅游局から口頭で伝達があったため。
9	北京B社	国家旅游局から指示があったため。
10	北京C社	国家旅游局から指示があったため。
11	北京D社	国家旅游局から口頭で通知があったため。
12	北京E社	旅游局から口頭で伝達があったため。
13	北京F社	旅游局から内部伝達があったため。
14	北京G社	5月中旬に旅游局の会議で口頭で伝達があった為。
15	北京H社	旅游局から内部伝達があったため。
16	青島A社	旅行局が被災地以外の訪日ツアー販売再開を認めた為。
17	青島B社	旅行局から被災地以外の訪日ツアー販売を認め、また他社も販売を再開したため。
18	青島C社	
19	上海A社	沖縄は震災地と遠く離れている為、大丈夫と判断。また、このお客様達は日本に行ったことがある為。
20	上海B社	正確には販売再開ではなく、当社の社内旅行の催行という意味。目的は日本ツアーの安全性をアピールするため。
21	上海C社	つい最近出張に行き戻ってきたら、他社が販売を再開していた。これから再開の準備をしなければ。
22	上海D社	旅行局からはOKが出た上に、メディアの報道も沈静化した為。
23	上海F社	旅行局が安全と言った為。
24	上海G社	自社の判断及び、旅行局の意見も聞いた上で、安全と思った為。
25	上海H社	上海旅行局が訪日ツアーがOKであると発表した為。
26	南京A社	旅行局がOKを出した為。
27	重慶A社	旅行局の許可が出た為。
28	重慶B社	旅行局は日本の南部と西部へのツアーに対しOKを出した為。
29	重慶C社	問題は販売するかどうかではない。お客様が来ないことが問題。
30	重慶D社	旅行局から被災地以外の訪日ツアーのOKが出た為。
31	広州A社	香港旅行社が再開した為。
32	広州B社	広州の他社が次々と再開した為。
33	広州C社	香港旅行社が再開した為。
34	広州D社	香港のEGLとPKGが再開した為。
35	広州E社	広州の他社が次々と再開した為。
36	広州F社	-
37	広州G社	※北海道に視察旅行中。
38	深圳A社	香港や広州の旅行社が再開したのを見たから。
39	香港A社	日本現地の提携旅行会社からの情報による。
40	香港B社	他社が再開したのを見たから。
41	香港C社	他社が再開したのを見たから。
42	香港D社	-
43	香港E社	-
44	香港F社	他社が再開したこと及び、JNTOから提供された情報を見たから。
45	香港G社	他社が再開したのを見たから。
46	香港H社	日本現地の提携旅行会社からの情報による。
47	香港I社	-
48	香港J社	-
49	香港K社	※海外視察旅行中につき不在。
50	香港L社	-

3.訪日ツアー販売再開後の問い合わせ状況

●販売再開後の問い合わせ状況については、震災直後のゼロ件という状況からは、各社とも徐々に増えつつある模様。

No.	エリア	訪日ツアー販売再開後の問い合わせ状況
1	瀋陽A社	少ない。ほとんどがこちらから声をかけている状況。
2	瀋陽B社	値段が安いからか、問い合わせは多い。夏休みの出発についてのツアーが多い。
3	瀋陽C社	値段が安くなった為か、問い合わせだけなら平常時より多いかもしれない。夏休みシーズンへの問い合わせが中心。ただ、航空券の値段がまだ決まっていない為、申し込みまでには至っていない。
4	大連A社	関西ツアーに関する問い合わせが中心だが、楽観的な件数ではない。1日に数件あるかないか程度。
5	大連B社	関西ツアーに関する問い合わせが中心。問い合わせがゼロ件だった時期があったが、徐々に増えると期待。
6	大連C社	関西に関する問い合わせが中心。夏以降の企画はまだ出来ていない。
7	大連D社	関西ツアーに関する問い合わせが中心。
8	北京A社	一日平均30件程度の電話での問い合わせが、震災後はゼロ件になった。今日やっと10件の問い合わせがあった。問い合わせはほぼ日本の南側の目的地について。6月に1団体催行する予定だが、これは社員とそのカズ公の団体。当然値段は安くしている。7月の企画はまだ決まっていない。航空会社の航空運賃がいくらになるかによる。
9	北京B社	ツアー催行までには至っていないが、先月よりは多くなった。先月はゼロ件だった。問い合わせの目的地は関西と北海道が多い。夏以降の企画はまだできていない。
10	北京C社	お客様からの問い合わせは本当に少ない。ほぼゼロ。最近ゆっくりながらも好転の兆しは感じている。夏休みシーズンについては現在企画中。
11	北京D社	お客様の問い合わせは少ない。1日10件前後の電話があり、関西ツアーについて聞かれる。夏休みシーズンについては現在企画中で、まだ出来ていない。
12	北京E社	問い合わせゼロ件から、最近わずかながらも来るようになった。問い合わせエリアは、やはり関西が中心。
13	北京F社	問い合わせは、関西や九州に関して、徐々に増えている。夏休みシーズンのツアーについては現在企画中。
14	北京G社	問い合わせ件数はあまり芳しくない。以前の3分の1程度。関西ツアーに関する問い合わせが中心だが、北海道についての問い合わせもあった。
15	北京H社	以前のゼロ件からすると、今では1日10件弱の電話による問い合わせを受けようになった。内容の多くはツアーの値段に関する事で、目的地については特に指定はない。
16	青島A社	問い合わせが少ない為、何とも言えない。
17	青島B社	まだ問い合わせはない。
18	青島C社	
19	上海A社	まだ問い合わせはない。
20	上海B社	まだ問い合わせはない。
21	上海C社	まだ問い合わせはない。
22	上海D社	東京の問い合わせはあまりない。夏休みの為の問い合わせが中心。
23	上海F社	値段が安いからか、問い合わせは多い。
24	上海G社	夏休みシーズンに関する問い合わせが来る。
25	上海H社	6月中旬以後に出発するツアーへの問い合わせは少なくない。日本に対しての心配は感じるが、値段が半額程度まで安くなった為か、魅力に感じてくれるお客様は少なくないと思う。
26	南京A社	去年の同時期と比較しても意味ないが、問い合わせは増えつつある。夏休みのツアーについてが中心。
27	重慶A社	問い合わせは徐々に増えている。夏休み出発のツアーについてが中心。
28	重慶B社	問い合わせはあるが、少ない。夏休みの問い合わせが中心だが、東京は回避されているようだ。
29	重慶C社	FIT以外はほとんどなし。なんらかの用事があるお客様ばかり。ツアーへの問い合わせはない。
30	重慶D社	心配しているお客様は多いが、値段が安いからか、問い合わせが増えつつある。東京に行きたい人もいる。
31	広州A社	ツアー催行までには至っていない。電話による問い合わせは少ないが、ある時は関西に関するツアーが中心。
32	広州B社	問い合わせは少ない。1日10件あるかないか。問い合わせ内容は関西と九州のツアーが中心。
33	広州C社	問い合わせ件数は徐々に増えつつある。特にこれと言った傾向はない。安い団体ツアーに関するものが中心。
34	広州D社	関西と九州ツアーに関するものが中心。沖縄についての問い合わせをするお客様もいた。
35	広州E社	「特価」の内容に関する問い合わせがある。
36	広州F社	-
37	広州G社	※北海道に視察旅行中。
38	深圳A社	問い合わせ件数は多くない。1日2~3件程度。関西方面のツアーについての内容がほとんど。
39	香港A社	20団体が催行できそう。しかし問い合わせは以前の半分程度。
40	香港B社	まだ催行までにはいたっていないが、6月には出発できそう。
41	香港C社	まだ催行までにはいたっていないが、6月には出発できそう。
42	香港D社	-
43	香港E社	-
44	香港F社	まだ催行までにはいたっていないが、6月には出発できそう。
45	香港G社	まだ催行までにはいたっていないが、6月には出発できそう。
46	香港H社	15団体が催行。問い合わせも徐々に回復基調にある。
47	香港I社	-
48	香港J社	-
49	香港K社	※海外視察旅行中につき不在。
50	香港L社	-

4.震災前後での訪日ツアーの傾向の変化の有無

- 震災前後での、訪日ツアーの傾向の変化について聞くと、ツアー内容については①日数が短くなった、②値段が安くなった、③目的地が関西、九州が増加した、の3点が多く挙げられた。
- 消費者については、「安全面を気にする人が増えた」との回答が見られた。

No.	エリア	震災前後での訪日ツアーの傾向の変化の有無
1	瀋陽A社	安全性に対する関心が高まったように思う。
2	瀋陽B社	大きく変わっていないと思う。
3	瀋陽C社	安全面について心配する人がまだ沢山いるようだ。心配性な人は問い合わせにも来ない。
4	大連A社	値段が安くなり日数が短くなった。まだ催行には至っていないが。
5	大連B社	ほぼ特価のツアーばかり。お客様がこれで魅力を感じてくれることに期待。まだ催行する人数には至っていない。
6	大連C社	値段は以前の半分あるかないか。期間も短い。
7	大連D社	特価のツアーが中心。催行人数には至っていない。
8	北京A社	値段が半値ぐらいになった。目的地は東京でも行かなくなった。
9	北京B社	東京の団体は1つのみ。他のエリア、、、特に関西と九州のツアーは増加した。値段も以前の半分程度。九州と北海道エリアは航空便の手配がネック。北海道行きの6月分は席がもうない。
10	北京C社	目的地として、東京への興味度は若干減少。ほぼ関西以南のエリアになった。値段も6日間の大阪・東京コースで3500円、北海道5日で4000円。航空会社も航空券を半値程度に値下げしてくれている。
11	北京D社	東京ですら行かれなくなった。関西、九州や沖縄のツアーに変わった。
12	北京E社	東北、北海道の団体ツアーはほぼなくなった。関西の格安ツアーが中心になった。
13	北京F社	東京に対してもまだ安全かどうか警戒心がある。関西以南のエリアが増えた。
14	北京G社	値段が非常に安くなった。以前の半分程度。また、小型の団体が増え、日数も4日前後になった。
15	北京H社	値段が安くなり、日数が短くなった。関西の4、5日の団体ツアーが比較的多い。まだツアーの催行までには至っていないが。
16	青島A社	震災後、値段が安くなった。
17	青島B社	分からない。
18	青島C社	
19	上海A社	まだ問い合わせが来ていない為、何とも言えないが、日本に行ったことがある人達(6月の沖縄ゴルフツアー)は特に変化がないようだ。
20	上海B社	まだ何とも言えない。
21	上海C社	特にない。
22	上海D社	値段は安くなるのが当たり前、、、と思う人が多くなったように思う。
23	上海F社	特にない。
24	上海G社	そんなに変わらないが、今の値段は安い為、日本旅行はお得だ！と思う人が増えたかもしれない。
25	上海H社	特に変わってないと思うが、値段が安くなったから、問い合わせはこれから来るようにはなった。
26	南京A社	震災前は東京がご指名のお客様が多かったが、今はツアーには東京を入れられなくても認めてもらえる。
27	重慶A社	日本に興味を持つ人は多いので、そんなに変わっていないと思う。
28	重慶B社	安全問題への関心が高くなった。
29	重慶C社	まだ日本を心配していると思う。値段を安くしても来てくれない。
30	重慶D社	旅行の安全に関心を示すようになった。
31	広州A社	目的地が関西以南が中心になった。
32	広州B社	東北と東京エリア以外の目的地になった。
33	広州C社	お客様は特別価格の団体ツアーには興味を持ってくれる。また、日数が短くなった。エリアは関西が中心になった。
34	広州D社	東京への団体ツアーはまだない。今のところまだ関西が中心。
35	広州E社	値段が以前の半分程度になった。今は4日程度の団体ツアーが多い。しかし、まだ集客には成功できていない。
36	広州F社	-
37	広州G社	※北海道に視察旅行中。
38	深圳A社	関西が中心。東京へのツアーは少ない。
39	香港A社	値段が安くなった。以前の3分の2程度。一番安い時は2分の1にまで下がった。
40	香港B社	東京のツアーは1つのみ。他は関西以南のエリアが中心。旅程日数も以前より短くなったものが多い。
41	香港C社	ツアー本数自体が減少した。以前の4分の1程度。徐々に回復するとは思う。
42	香港D社	-
43	香港E社	-
44	香港F社	ツアー本数が少なくなり、値段が3割程度安くなった。ツアー日数も短くなった。いずれもお客様の日本旅行に対する信頼を回復する為。
45	香港G社	ツアー本数が以前の3分の1程度に減少。目的地は九州、北海道、関西が中心。
46	香港H社	東北以外のツアーはほぼ出している。主に日本応援ツアーであるが。
47	香港I社	-
48	香港J社	-
49	香港K社	※海外視察旅行中につき不在。
50	香港L社	-

5.再開に伴い日本側に宣伝に力を入れてほしいエリア

- 日本側に宣伝を力を入れて欲しいとするエリアについては、関西以西のエリアが中心に挙げられた。現在旅行会社が販売している目的地と、ほぼ同様の結果となった。

No.	エリア	再開に伴い日本側に宣伝に力を入れてほしいエリア
1	瀋陽A社	本州、沖縄
2	瀋陽B社	ゴールデンルート
3	瀋陽C社	分からない。
4	大連A社	関西
5	大連B社	関西、九州、沖縄
6	大連C社	九州、沖縄
7	大連D社	関西の新しいスポット。
8	北京A社	日本政府観光局の宣伝に比べ、ツアー参加者の口コミの方が説得力がある。
9	北京B社	関西以南は宣伝に力を入れてほしい。しかしそれよりも、航空便の座席供給問題を解決してほしい。
10	北京C社	宣伝に比べ、より実質的なモノを必要としている。例えば北海道の航空便は料金が高すぎるのでやりにくい。一方、富山は興味があるので力を入れたいし、航空券の手配も容易である為、場所としては若干辺鄙だが開拓したいと思う。岩手の花巻温泉も我々に営業してきている。また消費者には正確な情報を徹底して提供し、安全であることを知ってもらえば、行ってくれる人はいると思う。
11	北京D社	九州、中部エリア
12	北京E社	九州エリア
13	北京F社	現在まだ状況は安定していない。宣伝より日本政府による公式な情報や、視察団を増加してほしい。
14	北京G社	九州、沖縄エリア
15	北京H社	九州、中部エリア、広島
16	青島A社	関西、九州
17	青島B社	関西
18	青島C社	
19	上海A社	九州、沖縄
20	上海B社	現時点では、何を宣伝してもあまり効果はないように思う。しかし、宣伝するとしたら東京、関西などにして欲しい。東京以北は難しいと思う。
21	上海C社	関西、九州
22	上海D社	関西、北海道
23	上海F社	関西
24	上海G社	大阪、北海道、沖縄
25	上海H社	関西
26	南京A社	関西、九州
27	重慶A社	関西
28	重慶B社	関西、九州
29	重慶C社	関西
30	重慶D社	関西ですが、関西だけでは面白さに欠けるので、東京も宣伝すると良いとおもう。
31	広州A社	九州、沖縄エリア
32	広州B社	九州、沖縄
33	広州C社	九州
34	広州D社	沖縄
35	広州E社	九州、中部エリア
36	広州F社	-
37	広州G社	※北海道に視察旅行中。
38	深圳A社	九州
39	香港A社	中部、四国エリア。新しいコースをを開發したいが、航空便がない。
40	香港B社	中部エリア
41	香港C社	中部、沖縄エリア
42	香港D社	-
43	香港E社	-
44	香港F社	中部、沖縄、四国
45	香港G社	中部エリア、四国
46	香港H社	四国エリア
47	香港I社	-
48	香港J社	-
49	香港K社	※海外視察旅行中につき不在。
50	香港L社	-